

X05a 宇宙科学研究所 科学データベース DARTS

根来 均、三浦 昭、星野 真弘、長瀬 文昭（宇宙研）清水 敏文（国立天文台）

宇宙研の企画情報解析センター（PLAIN Center）では、この1年余り、宇宙研が打ち上げた科学衛星が取得したデータを一般に公開すべく、データベース（Database for ARchives of Telemetry Science data, 略称 DARTS）を構築してきた。このほどそのデータベースがほぼ完成したので、その特徴を報告し、使い方を説明する。このシステムにより、インターネットを通して、誰もが自由にデータ取得から解析まで行なえるようになる。

公開されるデータは、現在の所、X線天文衛星「あすか」と太陽X線観測衛星「ようこう」のデータである。データの検索は、WWWを用いて行ない、「あすか」については、天体名、天体座標、観測日、PI名、天体のカテゴリーからの検索が、「ようこう」については、観測日からの検索がそれぞれ可能である。検索条件に天体名を入力した場合は、独自に開発した天体ネームリゾルバーによって座標に変換され、検索が行なわれる。

検索により選り出されたデータは、各自の端末のハードディスクに自由にFTPで転送することが出来る。また、WWW上でユーザー登録を済ませれば、PLAIN Centerの計算機DEC8200にデータを転送し、そこに用意された解析ソフトウェアを用いて、各自、解析することも可能である。

また、このシステムの特徴として、今後ふえると予想される他の衛星のデータの、システムへの登録が極めて簡単に行なえる点がある。発表では、実際の検索の様子などを示しながら、これらの事を詳細に説明する。